

# 2024年(令和6)年度 社会福祉法人こぶしの会 年間事業報告

## ■はじめに

2024年度から障害者福祉サービス等報酬が改定され、特に生活介護事業の日額から時間額への見直しなどにより、法人として大幅な減収が予想されましたが、新たな加算取得やGH等の稼働率向上など管理者、職員の努力によって経営を維持することができました。一方で、老朽化に伴う施設・設備の改善が喫緊の課題となっています。また、地震をはじめ自然災害等への備えも怠ることはできません。計画的な借入金返済も含め長期的安定経営の視点に立った資金の積立も必須となっています。2024年度は、こうした状況を踏まえ、経営・運営を進めてきました。

新たな5年計画づくりに着手しましたが、目まぐるしく動く情勢を踏まえたこぶしの会の将来像も見据えなければなりません。論議を十分に行うために、2025年度末までに計画を作成することにしました。

## ■具体的な取り組み

### 1. 自然災害や感染症への対応

□大規模自然災害に備えた業務継続計画に基づく対応・対策を具体化する。

- ・業務継続計画(BCP)、各事業所での行動マニュアルを災害時により使いやすいものとするため、見直しをおこなった。(来年度に改定版を作成する)
- ・発災に備え、これまで不整備のままであったこっから玄関前のスペースについて、移動の安全確保、スペースの有効活用のために大規模改修工事をおこなった。

□新型コロナウイルス感染症への対応・対策の変更を行う。

- ・新型コロナウイルス感染症については、11月以降にアクリル板の撤去や3密対策の緩和など原則的には他の感染症と同じ扱いとした。
- ・コロナ以外の感染症も含め、感染時の仲間・職員の休暇等の扱いについて確認した。

### 2. 新規事業、事業拡大

□仲間の生活を支えるために、新規事業、事業拡大を行う。

- ・グループホーム(GH)の改築・拡大、各事業所の事業内容の見直し・拡大等について、論議を進めたが実行には至らなかった。

一方で家族や仲間の高齢化に伴う地域生活支援についてはニーズの増加や緊急性に対して支援者の人材不足など対応が遅れる事態もあり、他法人や関係機関との連携、こぶしの会以外のサービス利用も広まった。奈良市における総量規制(B型、生活介護)など情勢を見極めながら、今後さらに法人の内と外での生活支援のあり方を検討していく必要がある。(第2期5か年計画の中で具体化していく)

### 3. 財政基盤の確立・強化

□令和6年度財政を安定的に進める。 / 法人の将来を見据えた財政強化。

- ・年度当初予算に基づきながら、月次報告ごとに論議・修正し執行をすすめた結果、今期も黒字決算(6期連続)を達成できた。
- ・そのうち災害時の備品購入、老朽化の施設・設備改修、借入金返済等を目的とする積立てを行った。
- ・定期昇給、賞与に加え今期は期末手当を支給することができた。

#### 4. 職場の改善

□職員が働きやすい法人になるため、労働条件等を改善していく。

- ・ 労使協議にもとづき給与改善、残業・休日出勤の明確化、看護休暇・介護休暇等、労働条件の改善を実施した。
- ・ 奈良労働基準監督署による労働時間等の調査では、この間の勤怠管理の取り組みが評価された。一方で是正勧告(超過勤務や出退勤の打刻等)についての改善をすすめた。
- ・ 各事業所ごとに法人監事による内部監査を実施し、課題の洗い出しを行った。引き続きコンプライアンスの遵守をめざしていく。

#### 5. 職員の適正配置、人材確保

□法人、各事業の運営、実践を踏まえ、人材確保(求人)を行う。

- ・ 法人として、人材確保委員の活動、職安への求人、県の福祉人材採用の取組、採用情報会社の利用等、職員確保の取組を行った。
- ・ GHの採用は、積極的に起きなってきたが、職員不足は解消されていない。生活介護事業所(こっから)での常勤採用はできていない。長期間、勤務できる常勤職員の採用が課題となっている。
- ・ 人材確保は、引き続きの大きな課題となっている。

#### 6. 地域や関係団体との共同・連携

□地域や関係団体との協力・共同を進め、法人の公益性を高める。

- ・ 「こっから祭」はコロナ以降ではじめて地域住民の方も招いて11月に開催し、関係者合わせて800名の参加で成功裏に終わった。地域からのイベント開催等こぶしの会に対する期待は大きく、開催規模を見直し、事前準備も職員や家族会の負担を出来るだけ軽減するなど今後も持続可能な形態を模索していく。
- ・ 住民自治会との話し合い、敬老の集いの送迎、古市公園のトイレ清掃の請負、「クリコミ」等のボランティア活動など様々な地域からの要望に応え活動に参加することができた。

#### 7. 職員の育成・実践の質の向上

□継続的に研修や会議等を行い、仲間支援の質的な底上げを行う。

- ・ 年4回の法人の全体会議や研修会の充実を進めた。常勤、非常勤職員を問わず、法人職員全員で法人のあり方や方向性を確認できるようにしてきた。
- ・ きょうされん、セルフ協などが主催するの外部研修にも職員が参加できるように、出張や助成等を行い、参加を促してきた。
- ・ 全国障害者問題研究会全国大会が奈良で8月に開催され、各事業所から5本のレポートを発表した。  
また実行委員の派遣やボランティア参加も積極的に行った。
- ・ 2025年度の「きょうされん」全国大会in奈良の開催に備え、滋賀大会に職員派遣を行った。

#### 8. 第2次中期事業計画の策定

- ・ 第2次中期計画の論議を始めたが、障害のあるひとの状況やこぶしの会の今後を見据え、一層の検討が必要と考え、2025年度に策定することにした。

※□の印と下線部分が2024年度の方針

## ■コミュニティワークこっから 事業報告

### 1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークこっから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 31名(委託職員を除く)  
常勤正規/14名 非常勤/19名

### 2. 利用者の状況(2025年3月31日付)

- ① 利用者数 46名(男性23名/女性23名)
- ② 平均年齢 39.7歳(21歳~67歳)
- ③ 平均程度区分 4.9
- ④ 障害手帳 療育手帳A(38名)/B(6名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(44名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1,000円 650円 400円 300円  
賞与(年間1ヶ月)  
今期 3,000円/月 6,000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

### 3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

### 4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
営業日数	21	23	22	24	19	22	22.1
登録者数	46	46	46	46	46	46	46.0
総利用者数	884	900	864	924	729	817	843.0
1日平均利用数	42.1	39.1	39.3	38.5	38.4	37.1	38.2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度比
営業日数	24	22	22	23	20	23	100%
登録者数	46	46	46	46	46	46	100%
総利用者数	931	808	865	810	744	840	99%
1日平均利用数	38.8	36.7	39.3	35.2	37.2	36.5	98%

### 5. 助成事業・寄付等

- イオンビッグ株式会社 様  
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、ビッグエクストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- イオンリテール株式会社 様  
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- 株式会社カーブスジャパン 様  
株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈していただいた。
- 雇用開発助成金(特定就職困難コース)
- 福利厚生センター健診費用助成  
30歳以上の会員の生活習慣病予防検診の一部助成
- もったいないNARA様  
野菜や果物を定期的に寄贈していただいた。
- 地域の方より たくさんのお野菜をいただいた。

## 6. 事業活動

### 授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	事業販売
事業収入	5,206,418	86,100	778,308	3,740,862	41,660	75,600	2,583,972
前年度比	97.1%	130.7%	253.6%	110.3%	93.4%	23.0%	117.2%
材料費	2,794,968	133,882	62,922	3,301,977	0	0	1,353,706
前年度比	99.4%	70.4%	53.6%	142.3%			77.1%
労務費	903,000		535,500	894,500	540,000		
経費				1,939,060			
減価償却費				539,568			
支出合計				12,999,083			

### 合計

収入	事業収入合計	12,512,920
支出	材料費	7,647,455
	労務費	2,873,000
	経費	1,939,060
	減価償却費	539,568
	支出合計	12,999,083
収支差額		-486,163

### 出張販売

	内 容
4月	
5月	護国神社春の大祭
6月	
7月	
8月	特定非営利法人ともに「すくすく夏祭り」出店販売
9月	奈良育英中学校文化祭出店販売 / 高の原イオン販売会出店
10月	護国神社秋の大祭 / たんぼぼ秋祭り出店 / きららの木「夏のつどい」出店販売
11月	カトリック幼稚園保護者会販売会 / たんぼぼの家秋祭り販売会
12月	奈良県庁販売会 出店 / さくら夢フェスタ(都南中学校)出店販売
1月	
2月	仔鹿の広場販売会
3月	椿祭り(護国神社)販売会

### 定点販売

デリカフェびいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火	食パン
ヘックスハイブ	月～金	食パン
社会福祉法人協同福祉会	月4回	洋菓子
花しば	金	とうふ
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
NPO法人ともに「すくすく」	月	食パン、とうふ
奈良おおの農園	月2～3回	洋菓子
奈良教育大学附属小学校	月3回	とうふ
call	火	とうふ

## 7. 行事等

### 各月行事・イベント

	内 容
4月	サークル仲間・職員みんな会議
5月	
6月	こっから家族会総会開催 / こっから仲間旅行(日帰り)
7月	地域別福祉就職フェアIN大和郡山出展(大和郡山イオンホール)
8月	
9月	健康診断 / こっから仲間夏祭り
10月	
11月	こっから祭り / 東大寺ビック幡デザイン採用品見学
12月	クリスマス会 / 年末班別対抗歌合戦
1月	初詣(全体) / 書初め / 成人式
2月	
3月	福祉・保育のお仕事フェア出展(奈良コンベンションセンター)

## 8. 見学・研修

### 施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
4/6	団体 見学来所	4
4/8	個人 見学来所	1
4/9	個人 見学来所	2
4/25	個人 見学来所	1
5/15	個人 見学来所	1
6/6	個人 見学来所	1
6/12	個人 見学来所	1
7/3	個人 見学来所	1
7/25	個人 見学来所	1
8/27	個人 見学来所	2
8/30	個人 見学来所	1
9/7	個人 見学来所	2
9/17	個人 見学来所	1
9/20	団体 見学来所	3
9/26	個人 見学来所	1
10/9	個人 見学来所	1
10/15	個人 見学来所	4
11/12	個人 見学来所	1
12/6	個人 見学来所	1
2/12	個人 見学来所	1
2/13	個人 見学来所	1
3/19	個人 見学来所	3
合計		35

### 体験・実習

日付	来所者	人数
10/16	奈良教育大学附属中学校 体験実習	6
10/17	奈良育英中学校 体験実習	20
10/30	枚方きくのか福祉会 見学研修	10
11/6.7.8	都南中学校(2年生) 職場体験実習	3
11/15	京田辺緑の風作業所 見学研修	17
12/6	奈良教育大学教職員大学院見学研修	5
2/3	東市小学校3年生 見学研修	20
合計		81

### 施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/27	東市地区社会福祉協議会総会	施設外
4/27	東市地区自主防犯協議会総会	施設外
4/29	きょうされん奈良支部総会	施設外
5/11	法人全体方針会議	施設内
5/19	全障研全国大会IN奈良 レポート学習会	施設外
7/30	安全運転管理者講習	施設外
8/3, 4	全障研全国大会IN奈良	施設外
8/9	奈良県サービス管理責任者養成研修パネルディスカッション	WEB
8/16	奈良県福祉人材センター施設見学WEBセミナー	WEB
8/24	法人全体研修会	施設内
9/7	全障研全国大会IN奈良 特別講座WEB研修	WEB
9/11. 12. 13	サービス管理責任者養成指導者研修(埼玉)	施設外
10/10	奈良労働基準監督署聞き取り調査	施設外
11/6.7	奈良県サービス管理責任者実践研修	施設外
11/24	全障研奈良支部総会	施設外
11/28	近畿セルフ実践研究報告会IN奈良	施設外
12/7	法人全体研修会	施設内
1/19	障害のある人たちの地域フォーラム奈良	施設外
1/20.21	奈良県サービス管理責任者実践研修	施設外
2/9	全障研奈良支部冬の実践交流会	施設外
2/15	法人総括会議	施設内
2/21	奈良市施設長会議研修	施設外
3/14.15	きょうされん働く実践学びの場	施設外
3/22	施設見学(木野環境・就労ネット宇治)	施設外

## 9. 地域との連携

- ①東市クリーンコミュニティに参加し地域清掃に取り組んだ。  
地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員（参加希望者を毎回募る）が関わることになり交流が広がった。（毎月第三火曜日14時から1時間）。
- ②こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。

## 10. 設備改修

- 駐車場全面平面化改修工事 ■汚水桝配管洗浄 ■トイレ便器入れ替え ■食堂外壁内壁シロアリ駆除

## ■ここに／すたあと事業報告

### 1. 施設の概要

- |        |   |
|--------|---|
| ① 設置主体 | 社会福祉法人こぶしの会   |
| ② 施設名  | ここに／すたあと  |
| ③ 所在地  | 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2                             |
| ④ 開設日  | 平成23年6月1日   |
| ⑤ 施設種別 | 就労継続支援B型  |
| ⑥ 定員   | 20名   |
| ⑦ 建物等  | ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)<br>すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)     |
| ⑧ 作業内容 | ここに 野菜等の販売、惣菜等製造販売、グループホーム夕食づくり<br>すたあと 軽作業、グループホーム除草作業 |
| ⑨ 施設職員 | ここに 常勤正規4名(うち兼務2名) 非常勤3名<br>すたあと 常勤正規2名(うち兼務1名)         |

### 2. 利用者の状況

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ① 利用者数<br>(3月末時点) | ここに 10名(男性5名/女性5名)<br>すたあと 8名(男性4名/女性4名)<br>日中一時 2名(男性1名/女性1名)  |
| ② 平均年齢            | ここに 38.8歳(22歳~65歳)<br>すたあと 43歳(34歳~56歳)   |
| ③ 障害手帳            | ここに 療育手帳A(1名)/B(8名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)<br>すたあと 療育手帳A(5名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名) 身体障害者手帳 3級  |
| ④ 居住地             | ここに 奈良市(10名)<br>すたあと 奈良市(6名)、生駒市(1名)、橿原市(1名)  |
| ⑤ 通所方法            | 単独通所  |
| ⑥ 労働時間            | 9:30~16:00  |
| ⑦ 給料              | 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 特別調理手当(200円/回)<br>平均工賃20,659円/月 (前年度と計算方法が異なる)<br>賞与(年間2ヶ月支給) 年度末に期末手当を支給(2万円をベースに出勤率で計算) |
| ⑧ 行事              | 季節ごとに実施 ※別紙参照   |
| ⑨ 負担金             | 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費   |
| ⑩ 自治会活動           | 毎月1回の全体会  |

### 3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」ことと人間的に発達することを大切にし、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

### 4. 利用実績

#### 就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	21	21	20	22	18	19	
登録者数	17	17	17	17	17	17	
総利用者数	255	265	254	284	238	263	
1日平均利用数	12.1	12.6	12.7	12.9	13.2	13.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	22	21	20	19	18	20	20.1
登録者数	17	17	17	17	17	18	17.1
総利用者数	289	268	253	238	234	257	258.2
1日平均利用数	13.1	12.8	12.7	12.5	13.0	12.9	12.9

## 5. 補助・助成事業

■イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。

## 6. 事業活動

### 就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	8,424,496
前年度比	106.7%
材料費	4,178,166
前年度比	102.1%
労務費	3,248,450
経費	614,655
収支差額	383,225

## 7. 見学・研修

### 施設見学・研修

日付	来所者	人数
5/16	奈良市職員福祉事業所実習	2
5/31	聖母の家(三重県)より見学	1

## 8. 行事等

### 各月行事・イベント

	内 容
4月	きょうされん奈良支部総会
5月	日本橋ストリート散策
6月	
7月	カラオケ/明治小学校ふれあい夏祭り
8月	全障研全国大会in奈良 / 大阪大正区の沖縄体験
9月	京都市動物園
10月	たんぼぼの家まつり / つながり祭
11月	こっから祭り
12月	クリスマス会 / 忘年会
1月	ここすた旅行(大阪) / 山焼き / あおぞら子ども食堂
2月	べんがら染め
3月	能登ドキュメンタリー映画上映会

### 体験・実習

日付	来所者	人数
6/14~21	聖母の家より実習	1
8/26~30	聖母の家より実習	1
12/9~12	聖母の家より実習	1
12/19~20	中学生職場体験実習	1
2/2~7	聖母の家より実習	1

### 施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/29	きょうされん奈良支部総会	施設外
6/1	「メンタルヘルスを考えよう」(ゆいの会後援会主催)	施設外
6/15	GH学習交流会	施設内
6/23	「自閉スペクトラム症児者の心の理解」(全障研)	施設外
7/5~6	きょうされんadvance(愛知)	施設外
7/13	きょうされん全国大会inしが プレ学習会	施設外
8/3~4	全障研全国大会in奈良	施設外
8/9	優生問題学習交流会	施設外
8/11	「日本のうたごえ全国協議会創作部」	施設外
8/24	法人全体研修	施設内
8/23~24	きょうされんadvance(大阪)	施設外
9/15	帯解駅フォーラム	施設外
10/18~19	きょうされんadvance(埼玉)	施設外
10/20	安田菜津紀講演会(ピースアクションinなら主催)	施設外
10/26	「発達障害の特性を生かす社会へ」	施設外
11/4	奈良平和大会	施設外
11/8~9	きょうされん全国大会inしが	施設外
12/13~14	きょうされんadvance(福岡)	施設外

日付	研修名	備考
12/21～22	全国若者・ひきこもり実践交流会(大阪)	施設外
1/18	第34回奈良県生協大会	施設外
2/1	ノーベル平和賞受賞報告会(東京)	施設外
2/9	全障研学習会	施設外
3/15	憲法トークセッション	施設外

## 9. 地域との連携

- ・自治会主催の町内清掃に参加した  
生け花教室は月2回開催。近隣施設への場所貸し
- ・田原地区キウイプロジェクトに参加(月一回)

## 10. 活動総括

- ・地域の公共トイレの清掃、企業からの内職の請負など新たな仕事として取り組んだ。
- ・仲間の給料昇給を2名行い、年二回のボーナスに加え、年度末に期末手当を支給した。
- ・地域貢献としての清掃活動、ここに市の開催、GH配食事業を行った。
- ・合同開所日や、仲間自治会等を行い「ここに」「すたあと」の仲間の交流を図った。
- ・農業専門家派遣(4回)を受け、キウイ栽培等についての指導を受けた。
- ・能登半島地震支援(4/5～6, 9/1～7)に参加した。

## ■ ふゅーちゃー事業報告

### 1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1) ケアホーム春日苑(共同生活援助)  
(i) 共同住居すまいる  
(ii) 共同住居ぐうぐうハウス  
(2) すまいる(短期入所)  
(3) ひまわり(共同生活援助)  
(4) 支援センターふゅーちゃー(令和7年3月廃止)
- ③ 所在地 (1) 奈良市古市町93-1  
(i) 共同住居すまいる 奈良市古市町93-1  
(ii) 共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41  
(2) 奈良市古市町93-1  
(3) 奈良市古市町1846-80  
(3) 奈良市古市町529-1
- ④ 施設種別 (1) 共同生活援助(包括型)  
(2) 短期入所事業  
(3) 共同生活援助(日中サービス支援型)  
(4) 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援(奈良市、御所市)  
居宅介護、重度訪問介護、移動支援(令和6年9月廃止)  
行動援護(令和7年3月廃止)
- ⑤ 定員 (1) 15人  
(2) 4人  
(3) 11人  
(4) 定員はなし
- ⑥ 職員 36人(常勤専任5人、常勤兼任4人、非常勤26人)

### 2. 利用状況

#### ① 利用状況

別紙のとおり

### 3. 事業所の運営

#### ① 運営の概要

- (1) 共同住居すまいるにて奈良市9名、大和郡山市1名の共同生活援助の実施  
共同住居ぐうぐうハウスにて奈良市4名の共同生活援助の実施
- (2) ひまわりにて奈良市9名、御所市1名、生駒市1名の共同生活援助の実施
- (3) すまいるにて短期入所(2Fのみ)実施。

## ■こぶしの会相談支援センター 事業報告

### 1. 事業の概要

- |        |                  |
|--------|------------------|
| ① 施設名  | こぶしの会相談支援センター    |
| ② 所在地  | 奈良市古市町529-4      |
| ③ 開設日  | 平成26年9月1日        |
| ④ 事業種別 | 指定計画相談支援 障害児相談支援 |
| ⑤ 職員   | 2名(兼職含む)         |

### 2. 事業

#### ①相談支援活動の概要

相談支援契約者数は91人である。兼務相談員0、1名加配でき、ここにすたあとの9名を引き継いだ。相談支援担当者会議開催も始まっている。計画相談支援件数は微減しているが、計画作成までの支援、事業所探し、見学、体験、定着までの支援、引継ぎやケース会議などのボリュームが大きく、時間を大きく割かれるケースが目立った。しかし、長年の働きかけで動き出すケースが多くあり、新しい挑戦を応援することができた。奈良市基幹相談支援センターや、委託相談から引き継いだケースもあるが、新規の受任要請は体制上お断りしている状態が続いている。昨年度から安定してきたケースについてはモニタリング月を長くして、必要度の高い支援に時間を割くメリハリもつけながら、とりくんできた。引き続き法人内で相談支援事業をどう位置付けていくのか、制度の動向などを注視しながら、議論をしていくことが必要である。

#### ②障害児相談

子どもの相談では、家族全体の支援が必要になるケースがあり、とりわけ外国人家族の出産にかかわって、母子保健との連携や、年末年始の対応など、計画相談の枠を超えて実働することが増えた。本人も一時期発達の退行がみられ、障害があること、言葉の壁、文化の違い、経済的問題など困難が重層的に現れた。色々な支えのコーディネーターとして役割が求められた。また、就学指導をめぐる助言や相談。入学後のフォローにおいても相談支援がケース会議をけん引することが求められた。学童保育や、放課後デイ、学校、また家族とともに行動背景を読み解く会議が継続している。思春期の子どもたちの課題なども含め、発達、療育・教育行政の仕組み等について意識的に研修を重ねてきた。困難ケースは、委託・基幹相談も手一杯の状況で、引き続き担当するケースもある。保健、医療、教育、司法等関係機関と連携していく。

#### ③地域の相談

地域でサービスにつながりにくい人は、困難を解消する手立てが薄く、その穴を相談支援の実働で埋めることは多い。また、複数のサービス、複数の支援者で生活を支えているケースは、支援のための共通認識を築いていくのに時間がかかり、事業所間でトラブルも起こりやすく、本人も含めた調整が必要となった。福祉事業全体が人手不等によって、サービスを縮小、したり、支援の質が低下せざるを得ない状況もみえてきた。一方、チームとして経験を積んだところは、相談支援の介入もなく自立的に支援をすすめられてきている。ひきつづき、家族支援、外国籍の困難事例などは引き続き幅広い分野の学習もしつつとりくむ。自立支援協議会や相談支援事業所連絡会等を通じて必要なしくみや、社会資源をつくらせることが引き続き必要である。

#### ④法人内相談活動

安定した状態が続く人はモニタリング回数を減らしてきた。一方、課題のある人については時間を割いて丁寧に対応するなど緩急をつけてすすめてきた。この間の傾向として、こぶしの会以外のショートステイや、グループホーム、居宅支援、他の生活介護を利用をするケースの増加がある。事業所探し、見学、体験、日中事業所と利用調整したり、支援内容について共有が必要となっている。それぞれの事業所にカラーがあり、体制や支援者の力量にも違いがある。こういった中で共通認識を築いていくことが求められる。また、高齢家族からの相談も多く、家族による送迎や、通院同行が難しくなるケースも相談支援を通じて、現場に「伝えられることが多い。地域包括や、介護サービスのつなぎを相談支援が担うこともあり、身近な相談窓口となっている。家族の状況などを支援者と丁寧で共有し、必要な手立てを工夫し編み出していくことが求められる。

#### ⑤その他

相談支援事業所連絡会、自立支援協議会による定例のケース検討会については事例をもって積極的に参加してきた。委託相談事業の消費税課税問題についても、相談支援部会や、行政に情報提供し、発信してきた。相談支援事業が、安定運営でき、実態にあった制度の改善されるよう、引き続ききょうされん相談支援部会等を通じて、国に要望していく。相談支援の力量を高め、ライフステージを見越した支援の提案ができるために引き続き幅広い分野で自主研修をすすめていく。

### 3.利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	7	2	2	3	4	7
モニタリング	23	19	16	19	12	14
児童	1	3	5	2	2	4
成人	29	18	13	20	14	17
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	9	6	3	4	6	8
モニタリング	18	13	15	17	11	14
児童	2	2	5	1	2	4
成人	25	17	13	20	15	18
	合計	R5	R元	R2	R3	R4
計画相談	61	74	68	94	102	101
モニタリング	191	210	208	217	241	219
児童	33	46				45
成人	218	226				275

登録91人 内訳:児童9人、成人82人 児童:就学前1人、小学3人、中学2人、高等部3人  
 コツから・ここに・すたあと所属60人 地域31人

### 4. 研修

#### 施設(内外)研修

日付		備考
4/11	優生問題全国交流会(オンライン)	自主
4/17	障害のある人と警察の在り方を考える安永健太さんフォーラム	自主
4/29	きょうされん支部総会	自主
5/16	きょうされん取材 蒲生野会授産・わたむき福祉会エコドーム・あゆみ福祉会GH	自主
5/29.30	きょうされん全国総会・国会請願	施設外
6/9	奈良障害フォーラム総会 講演:県障害福祉計画	自主
6/23	全障研奈良大会 講演:木下孝司氏	自主
7/3	優生裁判最高裁判決報告会 オンライン	自主
7/31	相談支援事業所連絡会事業所連絡会	自主
8/1	まほろばあいサポート総会	自主
8/3.4	全障研奈良大会 特別分科会 報告	施設外
8/24	法人全体研修	自主
9/4	きょうされん取材 やまなみ工房	自主
9/19	共同創造の精神医療改革研修	自主
10/28	障害者自立支援違憲訴訟定期協議	自主
11/7-9	きょうされん滋賀大会 特別分科会他	自主
11/24	全障研奈良大会 報告集会	講師活動
12/1.2	きょうされん近畿北陸ブロック研修 あみの福祉会	講師活動
12/6	奈良教育大学院 講演	施設外
12/15-21	JDF能登半島障害者被災地支援	自主
1/14	優生問題院内集会	自主
1/19	NDF地域フォーラム 藤井克徳氏	自主
1/24.25	きょうされん経営管理者研修 福岡	自主
2/1	被団協ノーベル平和賞受賞報告会オンライン	自主
2/9	全障研冬の実践交流会 レポート報告	自主
2/20	報酬改定実態調査報告会	自主
2/23-3/1	JDF能登半島障害者被災地支援	自主
3/8	ジョイアスクールつなぎ研究発表会	自主
3/14.15	きょうされん就労支援研修 京都	施設外
3/22	発達心理学会「インクルーシブ教育」研究集会	自主

## ◆共同生活援助事業(包括)

事業所名称		ケアホーム春日苑						
事業所開設年月日		2006 年 10 月 1 日						
事業種別	共同生活援助	事業類型	包括型					
定員	15	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→			
					年	月より		
年度内延べ利用	3558 人日	区分、種別 毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	0 人日	区分3	0 人日
			区分4	743 人日	区分5	1343 人日	区分6	1472 人日
年度開所日数	365 日		年度利用率			65 %		
年度内取得加算	夜間支援体制加算		重度障害者支援加算		処遇改善加算 I		帰宅時支援加算	
年度末登録者	14 人							
障害福祉サービス費 以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費(家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費(光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費(その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費(その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			

経過的 居宅介護対 象	区分毎 延べ利用	区分4	0	人日
		区分5	0	人日
		区分6	0	人日

人員配置		常勤	非常勤 (常勤換算)	派遣等 (常勤換算)	業務委託 (常勤換算)	合計
	管理者	1		0	0	1
	サービス管理責任者	1		0	0	1
	看護師等	0		0	0	
	生活支援員	4	9	0	0	13
	世話人		10	0	0	10

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃	○	洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	
	その他							

併設短期入所	有	(無)	定員	4	区分	医療型	福祉型
定員の変更(年度内)	有	(無)		→			月より
年度開所日数		日					
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	8	74	34	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0

## ◆共同生活援助事業(日中)

事業所名称		ひまわり						
事業所開設年月日		2022 年 5 月 1 日						
事業種別	共同生活援助	事業類型	日中サービス支援型					
定員	11	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→			
年度内延べ利用	2,904	区分、種別毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	132 人日	区分3	590 人日
			うち 日中含む	0	うち 日中含む	0	うち 日中含む	1
	人日		区分4	716 人日	区分5	264 人日	区分6	1,202 人日
			うち 日中含む	195	うち 日中含む	39	うち 日中含む	178
年度開所日数	363	日	年度利用率			73	%	
年度内取得加算	処遇改善加算Ⅱ		重度加算		帰宅時支援加算			
年度末登録者	11	人						
障害福祉サービス費以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費(家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費(光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費(その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費(その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			
経過的 居宅介護対象	区分毎延べ利用	区分4	0	人日				
		区分5	0	人日				
		区分6	0	人日				

人員配置		常勤	非常勤	派遣等	業務委託	合計
			(常勤換算)	(常勤換算)	(常勤換算)	
	管理者	1				1
	サービス管理責任者	1				1
	看護師等					
	生活支援員	4	7			11
	世話人		12			12

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃		洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	
	その他							

併設短期入所	(有)	無	定員	1	区分	医療型	(福祉型)
定員の変更(年度内)	有	(無)	→		月より		
年度開所日数	0	日					
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	0	0	0	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0